

あなたは何の為に仕事をしますか

お金を稼ぐ為?

自分自身の成長の為?

もうひとつ選択肢増やしませんか

『地域の為に』ってやつを



職員の一日の流れ

1

朝

仕分け・積込作業

朝一番の仕事は早朝に入荷された青果品等の仕分け作業と今日配達する消費材(食材)の積み込みをします



2

出発

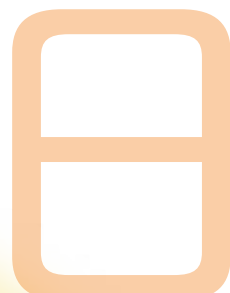
朝礼が終わったらいよいよ出発!安全運転第一でトラックを走らせます



3

配達

ワーカーズのお宅や組合員宅へ消費材(食材)を届けます
暑い日はジュースをもらったりして助かります



4

中

帰着

配達を終えてセンターへ戻ったら回収した空箱などの片付けをします
コツは配達中にある程度整えておくこと



5

事務作業

回収した申込用紙のチェック等を行います
提出を忘れていた組合員へは電話で聞き取りをします



倉庫整理

入荷品や日中の作業で倉庫内が混みあうので倉庫内整理を行います
なんでもそうですが整理整頓は基本ですね



6

7

夕

会議

働く組合員(ワーカーズ)の会議に出てどうしたら組合員が増やせるか、どうしたら地域が良くなるかなどを議論していきます



8

退勤

翌日の準備や自分の業務が終わったら退勤です
お疲れ様でした



わたしたちの仕事は組合員が暮らしやすい地域をつくる為の活動をサポートする事です

それはただ消費材を届けるだけではなく生産者の思いや情報を一緒に届ける事で共同購入の目的を理解して取り組む意識を組合員に持ってもらう為に配達を行います

配達以外にも地域の為に活動している組合員(ワーカーズ)の会議に参加をして地域の最適福祉の充実を目指していきます
まずは配達業務を通して福祉クラブの消費材知識を身に付け組合員との信頼関係を築いていって下さい

職員の声

①業務内容 ②入職のきっかけ ③仕事でのやりがい

●所属／鎌倉センター組織
マネージャー
●勤続年数／9年

増田 泉



- ①会議の資料づくりやセンターの配達・倉庫作業のサポートを行っています。
- ②食に関心があったので、安心して食べられる食材を組合員と生産者とで作りあげてきた福祉クラブ生協の活動に魅力を感じました。
- ③人と人とのつながりを作るために様々な活動を考え提案し組合員と一緒に実行しています。試行錯誤の連続ですが、成果が出るととても嬉しいです。正解のない活動ですが、自分で考え行動できる仕事です。

●日吉センター業務職員
●勤続年数／2年

永瀬 隼人



- ①組合員宅への配達業務や物流業務を担当しています。
- ②地域の人と人とを繋ぎ、自分らしく暮らせる街をつくっていくという働きに魅力を感じて入職しました。
- ③約束したものを約束した通りに届けるという、あたりまえのような事が難しく、組合員のねぎらいの声にいつも元気もらっています。物流業務では自分だけの力ではなく、多くの人とたすけあうことが必要だと実感し、届けることが出来た時は喜びを共有できるところにやりがいを感じています。

●組織部
●勤続年数／6年

片町 直紀



- ①主に、会議運営等から街づくりの主体となるW.Coの運営面、事業面のサポートをしています。
- ②元々、人と深く接することができる地域福祉に携わる仕事がしたいと思っており、コミュニティオプティマム福祉に向けてサービスを展開する福祉クラブの活動に魅力を感じ入職しました。
- ③W.Coの地域での活動状況を一緒になって共有しながら、課題点等を把握し、理事、W.Coと話し合いながら、解決に向けて進んでいく事=コミュニティオプティマム福祉の充実に繋がっていく事にやりがいを感じています。

●物流部
●勤続年数／4年

因藤 真理子



- ①主に申込用紙の制作・チェックを行い、それ以外には季節等に沿った特別な企画を立てています。消費材や生産者に関わることが多い業務です。
- ②実家がグループ生協の生活クラブに加入していたことから、消費材に馴染みがあり入職しました。
- ③生産者から消費材の話を聞いたり、生産者を見学したりと、自然と消費材や食の安全について知り、考えることが多くなります。自分自身の食についても考え、消費材や食べ物が好きになります。

専務理事からのことば

児玉 英憲

●専務理事



福

祉クラブ生協は一九八九年、未だ国の介護保険制度が始まる前に、二十一世紀初頭に訪れる高齢社会を見据えて、公的サービス(国)任せではなく、シルバーサービス(企業)に委ねるのではなく、市民参加型で組合員同士のたすけあいとして三つ目の選択肢をつくることを目的に設立した生協です。福祉クラブ生協が行う共同購入(宅配事業)では週に一度組合員宅を訪問し、コミュニケーションを図り、組合員の生活に向き合いながら福祉サービスの情報を届けます。それは共同購入システムを媒介とし必要な人へ必要な情報を届けるという配送システム自体を福祉と位置づけているからです。

ま

た、設立からこの間、宅配の共同購入を事業の柱にその剰余を活用して神奈川県下複数の自治体・行政区の

各地域で家事介護サービス、配食サービス、移動サービス、デイサービス子育て支援サービス、入居施設等、暮らしに必要な様々なサービスを展開してきました。福祉クラブ生協は高齢になっても障がいを持っても住み慣れた街で暮らし続けるための在宅福祉支援システムづくり、誰もが暮らしやすい住みやすい環境の街づくりを進めている生協です。

福

祉は効率が優先されない世界です。また、市民によるたすけあい活動には共に支え合う、共助の精神が尊重されます。ひとり一人の力は小さいけれど大勢の力を結集することで大きな役割を果たすことができる。福祉クラブ生協はそのような社会的役割を持つ職場です。職員の職務には常に組合員の意見に耳を傾けて尊重し合う態度が求められますが、それは職員も地域市民とともに心の通った福祉が充実される街づくりを進める当事者としての役割があるからです。

こ

れから日本は世界でも経験したことが無いスピードで超高齢社会を迎えます。また、高齢化の問題だけではなく、少子化、人口減少、生活困窮者の増加と生きにくい社会の時代ですが、国の財政の逼迫は明らかで社会保障は今後、更に狭まることが予測されます。コミュニケーションが崩壊している現代において、今こそ市民どうしのつながりや相互にたすけあう仕組みづくりが求められています。今の時代を生きる当事者として社会の問題に向き合い、共に解決を図るような人たちが職員として福祉クラブ生協の活動に参加されることを望んでいます。